輸入禁止品輸入許可申請書

下記のとおり〇〇を輸入したいので許可願いたく〇〇植物防疫所を経由して申請いたします。

下表の普通名称と同じ。

申請者の住所地を管轄する植物防疫所（本所）を記入してください。

住所 神奈川県横浜市A区北仲通〇-〇
職業 国立大学法人〇〇大学〇学部教授
氏名 植防 太郎

申請者の名義は次によります。

1. 大学では学長、学部長、教授（名誉教授を含む。）又は准教授
2. 国公立の研究機関では当該研究機関の長
3. 博物館等では館長（園長を含む。）
4. 民間の会社ではその会社の代表者（社長）又はその会社に所属する研究担当部門の代表者
5. その他の研究機関では当該研究機関の長
6. 警察署等では当該機関の長
7. 防除機関では当該機関の長

令和〇〇年〇〇月〇〇日

農林水産大臣 殿

※ 普通名称及び学名	トウモロコシ種子 (Corn seeds) <i>Zea mays</i>
試験種子の和名（英名）及び学名を記載してください。	
※ 数量及び梱数	☐ 梱 ☐ kg (△粒) ☐ package of total weight ☐ kg (△粒)
国別、試験種子別、植物の種類(ロット)ごとの重量又は粒数及び梱数を記載してください。なお、数量は 試験等に必要の最小限（1ロット2kg以下）としてください。	
※ 採取地又は産地	☐ ☐ 市・ ☐ ☐ 国 ☐ ☐ SHI, ☐ ☐ OKOKU.
試験種子が採取された国名又は地域名を記載してください。また、欧文を併記してください。	
輸送の方法及び経路 (郵便物の場合は発送地)	航空便扱い小包郵便物 (or 通常郵便物 (小型包装物)) で 〇〇国・ ☐ ☐ 市より輸入する。 ☐ ☐ 空港→ ☐ ☐ 空港
航空小包郵便物、航空通常郵便物 (小型包装物)、船積小包郵便物、航空貨物 (国際宅配便を含む。)、船積貨物、携行等の輸送方法を記載してください。 なお、携行する場合は、携行者の職名、氏名を記載してください。	

<p>輸入の際経由する植物防疫所名</p>	<p>〇〇植物防疫所 △△支所</p> <p>輸入される試験種子を受け取る（輸入を認可する）植物防疫所名（気付植物防疫所名）を記載してください。</p> <p>輸送の方法により経由する植物防疫所が決まりますが、郵便物の場合は「国際郵便物の通関手続きを行う郵便事業株式会社の事業所を担当する植物防疫所」に限定されます。</p> <p>詳しくは植物防疫所に照会してください。</p>
<p>輸入の目的</p>	<p>当該種子の〇〇に関する特性について解析し、遺伝資源の導入を図ることを目的とする。</p> <p>試験研究等の目的をできるだけ詳細に記載してください。</p>
<p>※発送人の住所・職業・氏名</p>	<p>検疫 花子</p> <p>Dr. Hanako Keneki</p> <p>〇〇〇〇〇〇〇University</p> <p>△△ - △△, △△, □□市, 〇〇国.</p> <p>海外出張先等から発送される場合は、研究所、事業所又は宿泊所（ホテル等）の住所を記載してください。また、欧文を併記してください。</p>
<p>※荷受人の住所・職業・氏名</p>	<p>〒231-XXXX 神奈川県横浜市A区北仲通〇-〇〇</p> <p>国立大学法人〇〇大学〇学部教授 植防 太郎</p> <p>Dr. Taro Shokubo, 〇〇University, 〇-〇〇</p> <p>kitanaka-dori, A-ku, Yokohama 231-XXXX Japan</p> <p>申請者と同一名義としてください。また、欧文を併記してください。</p> <p>なお、住所には郵便番号も記載してください。</p>
<p>輸入の予定年月日</p>	<p>令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p>許可指令書の入手に要する日数（約1か月）、輸入許可証票の荷送人への送付、輸入禁止品の発送準備及び輸送に要する日数等を考慮の上、記載してください。</p> <p>なお、輸入の予定年月日は、申請の日から原則6か月以内（やむをえない理由があるときは1年以内）としてください。</p>
<p>輸送中の包装状態</p>	<p>ロットごとに小分けした容器をビニールで二重包装し、プラスチックケースに入れ、密閉し輸送する。</p> <p>輸送中に試験種子を散逸させないための容器の種類及び包装の方法を記載してください。</p>
<p>輸入後の管理方法及び場所</p>	<p>管理施設：神奈川県横浜市A区北仲通〇-〇〇国立大学法人〇〇大学〇学部〇〇棟〇階実験室(B号室)及び〇〇室並びに〇〇棟〇〇階〇〇室。</p> <p>管理用法：トウモロコシ種子は〇〇室の保管庫にて施錠して保管する。トウモロコシ種子は土壌を使用したポットに播種し、栽培は〇〇棟〇階実験室(C号室)の△△機</p>

	<p>内で行う。種子、植物残渣等、使用した器具類は同実験室のオートクレーブで、120℃、20分以上の殺菌を行う。</p>
<p>利用期間及び利用後における処理方法</p>	<p>令和〇〇年〇〇月〇〇日まで、使用予定。利用後は実験室（B号室）オートクレーブで、120℃、20分間以上の殺菌を行う。</p>
<p>輸入後の管理責任者氏名</p>	<p>国立大学法人〇〇大学〇学部教授 植防 太郎 連絡先 TEL : 045-123-XXXX FAX:045-123-XXXX</p>
<p>その他参考となるべき事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該管理施設は農林水産省指令〇〇植第〇〇号で許可された管理施設と同一である。 ・ 管理責任者が不在時の連絡者 検疫 花子 TEL : 045-123-XXXX FAX:045-123-XXXX ・ トウモロコシ種子は、〇〇棟〇階実験室（C号室）の△機内で栽培し、前作はない。 播種予定日：令和2年1月10日 開花予定日：令和2年2月10日 栽培終了予定日：令和2年3月10日 ・ 気付植物防疫所から管理施設までは、宅配便（着払い）

輸入許可条件に関する重要な事項です。輸入禁止品の保管、試験の内容、消毒及び廃棄別に、方法及び場所（研究室名等）を具体的、かつ詳細に記載してください。管理施設については、「〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 〇〇研究所〇〇棟〇階〇〇研究室及び〇〇室」のように記載し、管理方法については、次のように具体的に記載してください。

- ・「〇〇種子の保管は、〇〇室内で行う。」
- ・「〇〇の隔離栽培は、外部への分散を完全に防止できる〇〇施設の〇〇温室内でポットを使用し、他の同種の植物（及び寄主植物）と隔離して行う。ポットから流出した水は収集装置により収集し、〇〇施設内のオートクレーブで120℃、20分間以上の殺菌処理を行う。」
- ・「試験中不要となった当該種子標本及び植物残渣等はその都度〇〇施設内のオートクレーブで120℃、20分間以上の殺菌処理を行う。」

利用期間は、目的とする試験等が終了するまでの期間で、申請の日から6年間以内としてください。
 なお、試験等の性格上、長期間にわたる場合はその旨を記載してください。

利用後における処理方法は、輸入禁止品及び試験等に使用した器具類の消毒方法（高圧殺菌等）又は処分方法（焼却等）を記載してください。

試験種子の保管及び試験を担当する責任者の機関名、職名、氏名、電話番号、ファックス番号、E-mailアドレス等を記載してください。

での送付を希望する。

以下のような参考となる事項を記載してください。

- ・今までに輸入許可を得て使用したことのある管理施設を使用する場合はその許可番号。
- ・管理責任者が不在時の連絡者及び連絡先（電話番号、ファックス番号等）。
- ・許可を受けようとするそれぞれの品目、種類、ロットごとの播種予定数量、栽培場所、前作作物、播種予定日、開花予定月日、栽培終了予定月日（別紙とすることも可）。
- ・（郵便の場合）気付植物防疫所から管理施設まで試験種子の送付を希望する場合（着払いになります。）は、その送付（輸送）方法。
- ・研究機関の過去の研究事例及びその資料。
- ・日本出発日：令和〇年〇月〇日（輸送方法が携行の場合。）

備考 ※印の欄には、欧文を併記すること。